

日本・中米「対話と協力」フォーラム
(概要)

平成20年3月
中米課

1. 概要

(1) 目的

中米における和平及び民主化の進展並びに近年の我が国と中米地域の関係強化に鑑み、日・中米共通の関心事項全般についての意見交換を行い、我が国及び中米諸国双方の外交政策についての相互理解の促進を図ること。

(2) 開催地、開催頻度

中米（議長国）と日本で交互に開催。原則として年1回
本会合の他にフォローアップ技術会合、準備会合を開催

(3) 参加国

日本及び中米統合機構(SICA)加盟国である中米5カ国（グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ）、パナマ及びベリーズが正式メンバー。準加盟国（03年にオブザーバーから昇格）のドミニカ共和国は第3回会合より参加。

(4) 議題

地域情勢、日・中米関係（国際機関における協力、経済関係、経済協力）等、共通の関心事項全般。

(5) 出席者

我が方：中南米局長、中米側：外務次官

2. 発足の経緯

中米地域においてはグアテマラ、ニカラグア及びエルサルバドルで内戦が続いていたが、1990年代に入り上記3カ国における内戦が終結、和平が達成され、民主化が進展した。我が国は倉成外相が87年の中南米訪問の際に示した、いわゆる「暁援助」の方針に従い、中米諸国の平和と民主主義の定着、経済復興と発展のための重要なパートナーとなった。

こうした情勢変化を受け、日・中米双方において外交政策について相互理解の促進を図り協力関係を更に強化する必要性が認識され、95年9月26日、第50回国連総会の際に開催された日・中米外相会談で本フォーラムの設置が合意され、本フォーラム設置に係わるステートメントが署名された。

3. これまでの実績

第1回会合：1995年11月（於エルサルバドル）

第2回会合：1996年7月（於：東京）

我が方から池田外相（一部出席）他、中米側からは外相他が出席。

第3回会合：1998年3月（於：エルサルバドル）

第4回会合：1999年8月（於：東京）

第5回会合：2001年2月（於：エルサルバドル）

第6回会合：2002年3月（於：東京）

第7回会合：2003年5月（於：パナマ）

第8回会合：2004年10月（於：東京）

第9回会合：2005年7月（於：ニカラグア）

第10回会合：2006年6月（於：東京）

第1回日本・中米首脳会談：1996年8月（於：コスタリカ）

第2回日本・中米首脳会談：2005年8月（於：東京）